

飯伊地区 産業経済動向

No.532 2023/7
(5.8.25 発行)



IIDA SHINKIN BANK
飯田信用金庫
しんきん南信州地域研究所

<https://www.iidashinkin.co.jp/>
〒395-0044 飯田市本町1-2
TEL 0265-53-5811 FAX 0265-53-1132



Contents

表紙	写真：ユネスコ無形文化遺産登録後初めて開催された今年の新野盆踊り（8月14日撮影）	P 1
製造業	景況DIは前月から悪化。機械製造では売上減少との声が多い	P 2
建設業	7月の公共工事は前年比減少。6月の住宅着工は前年比増加	P 4
商業・サービス業	景況感是好転。飲食業、宿泊業で前年比売上増加の声多い	P 5
しんきんリニア・三遠南信対策室です	北陸新幹線新高岡駅・高岡駅地域の現況	P 6
特集	大学のあるまちを訪ねて 大学のあるまちの姿～上田市・公立大学法人長野大学の事例～	P 8
飯伊地区全産業景況DIの推移・主要経済指標		P 13
南信州の民俗芸能を知る 第2弾 歌舞伎を学ぶ		P 14

◆ 本誌内容は飯田信用金庫ホームページ（<https://www.iidashinkin.co.jp/>）に全文掲載しています ◆

本誌は、当金庫が信頼できると考えるデータに基づき作成されておりますが、データ、記述の正確性、完全性を保証するものではありません。御利用に当たってはご自身の判断によってください。

しんきんは環境にやさしい取り組みを地元のみならずともに行っています。



再生紙を
使用しています

地区内製造業の景況判断指数

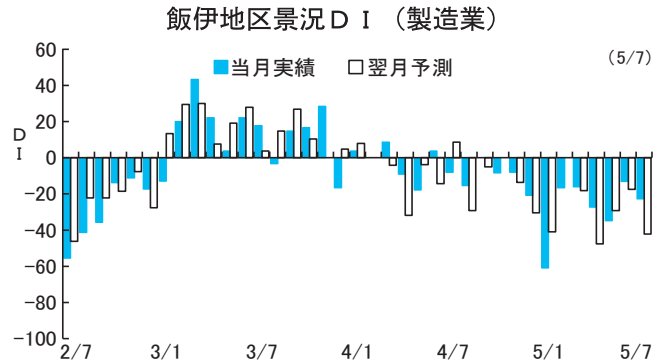
概況 景況DIは前月から悪化。機械製造では売上減少との声が多い

当月の製造業の業況判断指数（DI）マイナス22.7で、前月から9.7ポイント低下。翌月予測はマイナス42.1で、前月から24.7ポイント低下。機械製造では売上が減少傾向の事業者が多い。また、半導体関連産業は回復が遅れており、年内は厳しい状況が続くとの声が聞かれた。雇用については、人手不足により募集をしているとの声は変わらず多いが、希望する人数に足りない、募集を掛けても問い合わせもない、などの声が寄せられた。

主な業種の動き

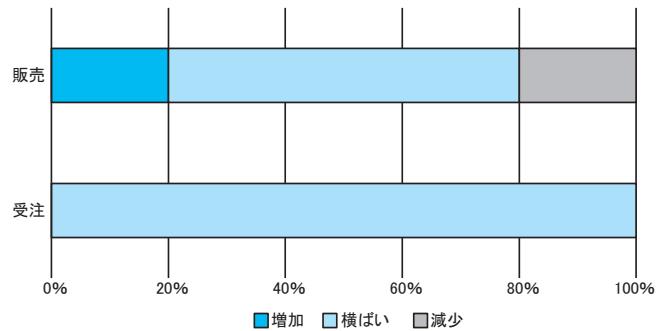
●電気・精密・光学

- ☑受注、販売… 販売の前月比は業者により増減分かれ、前年比では減少との声やや多い。受注の前月比は横ばい、前年比では増加との声やや多かった。
- ☑景況感…… 当月の景況感は概ね横ばいとの声。先行きについては悪化を見込む声が多く、好転を見込む事業者はなかった。



【DI（ディフュージョン・インデックス）】とは…
 景気に関する投票を指数化したもので、全体の回答数を分母、良い、やや良いとの回答数を分子にした割合から、全体の回答数を分母、悪い、やや悪いとした回答数を分子にした割合を引いた数値。
 「先月と比べて景気が良い」との回答が多ければプラス、「先月と比べて景気が悪い」との回答が多ければマイナスとなる。

電気・精密・光学向け部品前月比回答割合



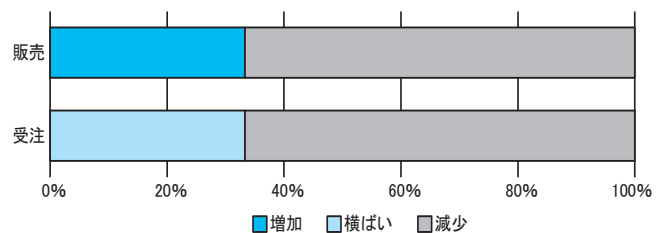
[企業からのコメント]

- ・今年に入りFA事業は下降に転じてきている。その一方で、車載事業や民間航空機事業は生産が回復傾向にある。
- ・民需を中心に受注状況が悪化してきており、この先の売上においては不透明感が出てきている。
- ・見積もりなど、前向きな話が少ない。

●半導体、液晶製造装置向け機械部品

- ☑受注、販売… 販売の前月比は業者により増減分かれる。受注は減少～横ばい。
- ☑景況感…… 当月の景況感は業者により見方が分かれた。先行きについては、悪化を見込む声が多い。

半導体、液晶製造装置向け部品前月比回答割合



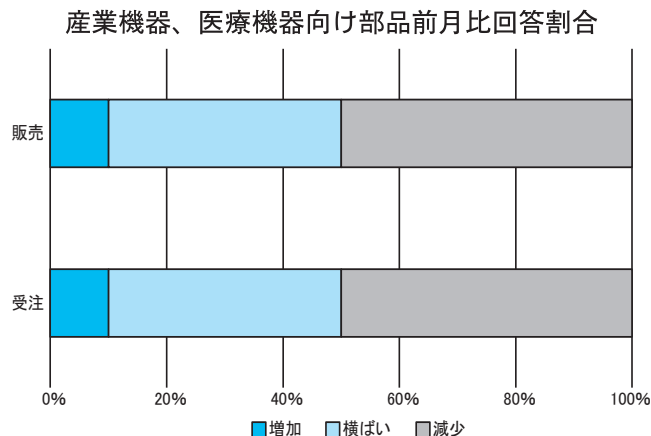
[企業からのコメント]

- ・前年度や前々年度に比べれば景気全般は良くないが、前月に比べれば回復傾向にある。6月単月の売上高はまずまずの結果で、これが継続できれば利益率も回復傾向となるが、売上が乱高下しているため先行きは不透明。
- ・半導体業界は、メディア情報や出入りする業者から、軒並み良くないと見聞きしている。2023年中の回復は見込めず、本格的な回復は2024年以降を予測している。また、回復しても以前のような爆発的なV字回復は望めず、緩やかな回復になると思われる。
- ・半導体関連は、前月比で売上高やや減少。2024年3月までは厳しい状況が続く見通し。景気の良い話は聞こえてこない。
- ・原材料については下がるトレンドになることを期待しているが、大きな変動はまだない。一部の材料では価格ダウンもあるが、価格アップの材料もあるため、全体的には大きなインパクトはない。
- ・若年層、中間層の人員を強化したいが、募集を掛けても問い合わせすらない。現状は仕事が薄いためカバーできているが、回復した際の人員不足は否めない。

●産業機器、医療機器向け等機械部品

受注、販売… 販売、受注ともに、業者により増減分かれるが、増加よりも減少との声が多い。先行きについても減少を見込むとの声が多い。

景況感…… 景況感が悪化したと回答した業者は先月と比べ増加した。先行きも悪化を見込むとの声が多く、好転を見込むとの声は聞かれなかった。



[企業からのコメント]

- ・「医療機器関連は横ばいな状態」「見積もり単価を下げないと受注できない」「新しい生産計画等の情報や物流量の減少で、景気は停滞している。先の見通しが不明中、じっと我慢している状況」「7月に入り、仕事量減少の声は多く聞かれる。年内は悪いのではないかとのも」「小物部品の動きが悪く、工場を休ませて対応している所も出ている」
- ・「防錆油、グリス、エンジンオイルが値上がり」「7月からアルミが若干値下がりも、8月からまた値上がりのため、先行して材料を手配した」
- ・「材料費以外の値上がり分を製品単価へ反映するのは厳しい」「諸経費上昇により、製品単価やや上昇」
- ・関東で加工していた案件が、九州へ流れているとのこと。

●漬物、半生菓子、菓子原料等

売 上… 漬物は前月比でやや減少、前年比では横ばい。菓子は前月比横ばい～やや増加。景況感については、大きな変化はないとの声が多い。

[企業からのコメント]

- ・旅行支援や観光クーポンも終了し、観光需要は伸びてこない。一般市場も、食料品の価格上昇により買上げ点数は減少傾向とのこと。これからも選別消費は進むと考えられる。
- ・物価上昇に賃上げが追いついていないとのことで、消費動向が心配。
- ・「原材料の値上げに終わりが見えない」「夏の繁忙期だが、餅粉の値上がり等、昨年引き続き厳しい状況」「同業他社は、秋以降の値上げを計画するところが多い」「まだ原材料の値上げが続く」「拠点の集約をはじめ、自社でできることは進めていく時期。ただし、材料費の値上がりは自助努力では如何ともしがたい」

●水引製品、冠婚葬祭・祝儀用品、正月・盆用品

売 上… 前月比は概ね横ばい、次月以降はやや増加を見込むとの声。景況感横ばいも、次月以降はやや好転を見込むという。

[企業からのコメント]

- ・コロナ禍前の販売水準に戻っていない。特に祝儀用品はますます悪化して製造能力が落ち、これからは売上が見込める価値ある商品づくりに前進する。
- ・コロナ禍以後、業界は不況産業の仲間入りをしているが、もっと知恵を出し合って業界を盛り上げる必要がある。

●上記以外の製造業

自動車向け部品 … 販売は、前月比横ばい、前年比では増加。景況感横ばいとの声。

印 刷 …… 販売は、前月比やや増加、前年比では減少。原材料単価は、上昇が続く見込みという。

[企業からのコメント]

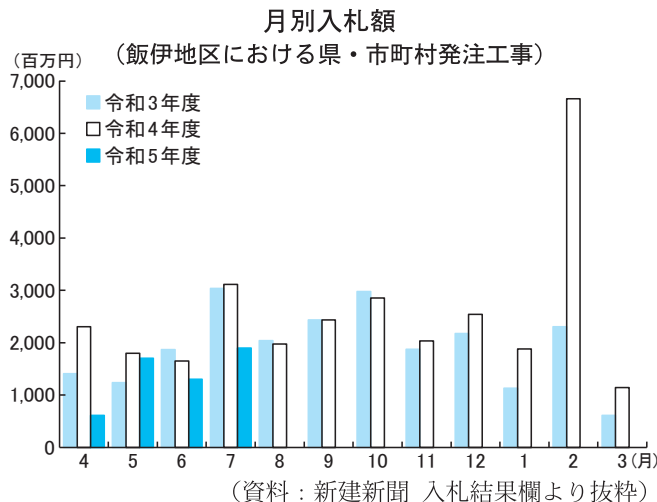
- ・夏祭りの復活により、花火番付け等の受注が復活してくる。来月以降の売上に多少なり貢献してくれそう。
- ・コロナが5類になったとはいえ、コロナ感染者がまた増加してきており、今後にも不安あり。
- ・求人において、どこも厳しいとの声を聞く。当社においても、新卒1名、中途採用1名の内定は取れたが、部署によってはまだまだ不足。今後年末に向け、人員不足は大きな不安となる。

建設業

官公需

概況 7月の公共工事入札金額は前年比で39.1%減少、一昨年比では37.6%の減少

- ☑公共工事入札額… 当地区における当月の県、市町村発注工事の入札額合計は、約18.9億円（8月15日調査時点）。前年に比べ39.1%減少、2年前との比較では37.6%減少。
- ☑受注残高…………… 前月比、前年比ともに業者により増減分かれる。景況感は大きな変化はないとの声が多いが、一部にやや好転したとの声も。
- ☑原材料価格…………… 前月比ではやや上昇との声が多い。先行きの見込みについては横ばいとの声と、上昇との声に分かれる。



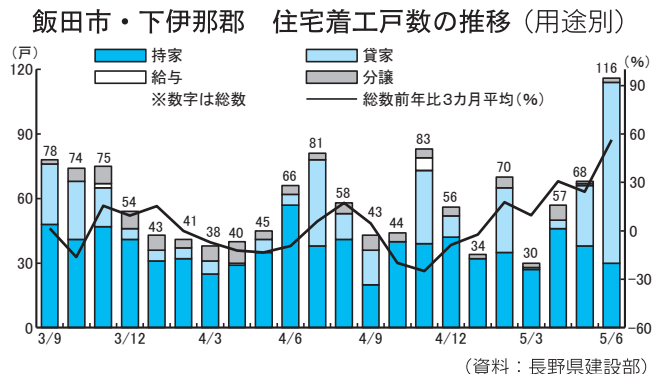
[企業からのコメント]

- ・今年は例年に比べ工事が少なく、忙しくない状況。工事は受注はしているが着工できない現場もあり、労務が遊んでいる状況である。
- ・「公共工事の受注が昨年より良い傾向となってきている」「災害関連工事等の受注が増加した」「受注額は前年並み」
- ・例年に比べ忙しくないが、6月上旬の大雨の災害工事等が発注になると10月以降は忙しくなりそうだ。
- ・国土強靱化計画の予算も法制度になったので、国家予算としての中長期的な確保を望みたい。

民需

概況 令和5年6月の住宅着工戸数は116戸で前年比76%増。貸家の大幅な増加が寄与し、3か月続けて前年比プラス

- ☑住宅着工戸数… 当地区の6月の住宅着工戸数は116戸。前月比71%増、前年比では76%増。持家の戸数は30件と、前年（57件）から減少。貸家は84件で、こちらは前年（5件）から大きく増加した。
- ☑原材料価格…………… 前月比では概ね横ばいと回答が多くなっており、一時期の上昇局面と比較すると落ち着いてきた。次月以降も概ね横ばいを見込むとの声が多い。



[企業からのコメント]

- ・一般工事では、当社にとっては大きい仕事が確保できた。中型工事も施工中なので心強い。新築住宅は動きが鈍いし、受注も少ない。
- ・受注残高は減少した状態が続いている。次月以降も減少を見込んでいる。
- ・新築住宅は少ないのではないかと。人口が増えないのだから住宅は増えないが、空き家は増える。
- ・土木は仕事が多いが、建築は少ない。建築業者も減っていると思う。

建設資材等

概況 6月の生コン売上は前月比横ばい～増加。骨材売上は前月比やや増加

- ☑生コン … 売上は前月比やや増加～増加、前年比は業者により増減分かれる。
- ☑骨材 … 売上は前月比増加、前年比は業者により増減分かれる。

[企業からのコメント]

- ・当月の生コンの主な出荷は、三遠南信工事、リニア関連工事、工場建設、砂防・治山工事に関わるものだった。リニア関連工事の出荷量は、当月出荷量全体の約20%弱。
- ・なかなか読み通りにいかない。結果をもって判断するが、リニアで必ず過去最高の需要が見込まれるとのことから、在庫確保は当面の目標。
- ・いまだ大きな工事の動きがない。8月以降の仕事の先行きも見えない。単発的な大きな出荷はあるが継続的ではない。

商業・サービス業

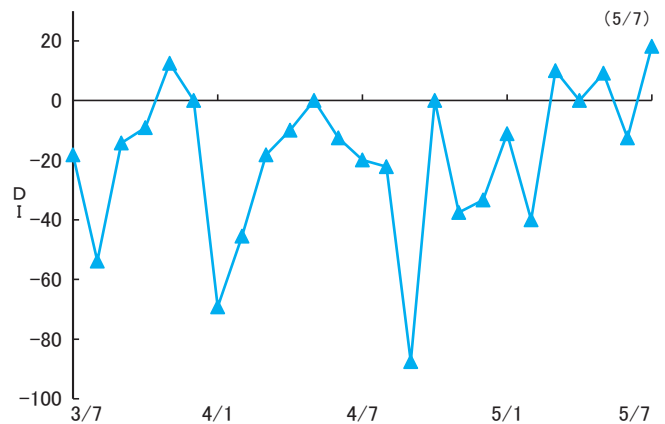
概況 景況感は好転。飲食業、宿泊業で前年比売上増加の声多い

当月の商業・サービス業の業況判断指数（D I）は、プラス18.2で、前月から30.7ポイント上昇。

6月は低調との声が多かった宿泊業では、本格的な夏を迎えて動きが出てきたとの声が聞かれ、売上も前年比増加との声が複数聞かれた。飲食業でも前年比売上増加の声が多いが、両業種に共通して、物価上昇による消費動向の弱さや、利益が圧迫されているとの指摘があった。

雇用については、宿泊業で接客対応の人手が足りないとの声が引き続き多い。人材派遣や技能実習生など、各種の採用チャネルを駆使して採用を進めているとの声もあるが、人手不足解消までは至らない様子。

商業・サービスD I



主な業種の動き

●小売業 概況 売上の前月比は業者により増減分かれる。前年比ではやや増加

☑売上 … 前月比は業者により増減分かれる。前年比はやや増加。景況感概ね横ばいとの声。

[企業からのコメント]

- ・ガソリン代や電気代、食品等の物価上昇による買い控えあり、購入平均価格が減少傾向にある。
- ・仕入業者やメーカーの廃業があり商品確保に苦労。仕入価格も都度値上げされるものもあり、見通し不明。

●卸売業 概況 売上は前月比、前年比ともに業者により増減分かれる

☑売上 … 食品、電設資材の売上は前月比でやや増加、青果は前月比やや減少との声。

[企業からのコメント]

- ・昨年価格が低迷した野菜は、天候も良く、人の動きも活発になり3年ぶりに高値で推移した。野菜全体では入荷量やや増、価格も高く、久しぶりに良い結果となった。果実は、旬の桃と西瓜は7月中旬以降天気に恵まれ、入荷量も増え価格も高値で取引された。その反面、円安の影響で輸入果実は割高となり、昨年を1割ほど下回った。果実全体では入荷量増、価格はやや高となった。
- ・売上面では、記録的な高温でエアコンを中心とした季節商品が好調。またエネルギーコスト上昇により、LED照明や省エネ家電も好調。仕入面では、コロナ禍の時の供給不足は落ち着いた様子だが、原材料コストや運賃、人件費といった値上がり幅が大きく、商品・製品の価格上昇が止まらない。
- ・単純に商品販売だけでは成長は見込めない。技術力を付加価値として提供している部分が伸びている印象。
- ・材料・資材ともに価格上昇は今後も続きそう。販売価格にうまく転嫁させる努力が必要。

●飲食・宿泊・運輸業 概況 飲食業は前年比で売上増加との声。宿泊業でも前年比売上増加との声が多く、一部には景況感好転との声も

☑売上 … 飲食業は前年比増加、宿泊業では業者により増減分かれるが前年比増加との声が多い。

[企業からのコメント]

- ・コロナが猛威を振っていた頃と比べると格段の違いがある。予約の電話も多く、また法事等の需要も増え、各種宴会や祝いの席も増えつつある。しかし物価高の影響からか、単価的な伸びはなく、コースの安いものが主流。
- ・6月が良かった分、7月はいまいち。昼の気温が暑すぎて、来店客が少ない。
- ・「星空ツアーの再開により、ツアー客が動き出した。ただ天候が不安定で、集客が伸び悩んでいる」「夏休み、盆休みを控え動きは出ている。しかし、コロナ以前の動きが全般的に出ていないように見える。全国旅行支援も終え、ガソリンはじめあらゆる物の値上げにより、外出を控えている感もある」「コロナ前の2019年よりも動きは良かった。主要のビジネス客も、夏休みの交流客も、両方動きが良かった」
- ・インバウンドの旅行者が木曽地域には相当数入り込んでいる。それに比べ、南信地域はインバウンド客は少ないし、誘客活動もそんなに盛んではない。地域全体がインバウンドを受け入れる土壌作りが第一かと考える。
- ・「明らかに材料費率が高くなっている」「電気、ガス、灯油、食品などあらゆる物の値上がりで大きく利益が削り取られている」「客単価は上がっても、様々な物の仕入価格や人件費が上がっているの、少しでも多く稼働させて利益確保に努めたい」

北陸新幹線新高岡駅・高岡駅地域の現況 ～新高岡駅と高岡駅両地区のバランスが課題か～

コロナ禍を経て、久しぶりに富山県高岡市・高岡駅および北陸新幹線新高岡駅を訪問する機会を得たので、現況をお伝えしたい。

1. 新高岡駅区域に店舗増、同駅周辺部の今後は

北陸新幹線新高岡駅への訪問は4回目となる。最初は新幹線駅建設中の平成26年11月、駅躯体および内装の工事はほぼ仕上がっていたものの外構工事の真っ最中だった。2回目は北陸新幹線新幹線金沢延伸が成った(同27年3月)後の同年8月。駅横の立体駐車場がほぼ満杯など活発な人の動きを感じた。3回目は同29年11月で、駅前に高層階のビジネスホテル(東横INN)が建っていたのが目を引いた。

今回、新高岡駅周辺部での発見は、駅南口広場の平面駐車場の隣りに2棟の建物ができていること。見ると美容院とエステ店(頁下図★印)だった。「新幹線駅域内になんで美容院、エステ店?」と思った。当初の駅周辺整備計画では、平面駐車場に続くこの場所は、当初ホテル等来訪者向け施設と期待されていたのではと考えられたが…。しかし、よくよく考えると駅南口前県道(新高岡庄川線)の反対側区域には富山県最大のイオンモール高岡が増床(西館)して令和元年に営業開始しており、生活関連サービスの店舗として、同モールを訪れた顧客をターゲットとしたものと考えられると納得がいく。

ただ、新高岡駅とイオンモール高岡を囲む周辺地は「市街化調整区域」に指定されている。市は「コンパクト・アンド・ネットワーク」を掲げ、「中心部」と想定するのは高岡駅を中心に新高岡駅まで、新高岡駅より南側は都市化を規制しており、単純に「新幹線駅周辺として今後更なる発展」とはならないようだが、同駅周辺の今後の自然発生的な開発がどうなるか、その対応はどうか、など注目される。

2. 新高岡駅と中心市街地のアクセスは城端線と路線バス

次に新高岡駅と高岡駅を往復した。「往」は城端線の普通列車で、城端線は非電化路線のためディーゼル車両、高岡・新高岡間の1駅区間で所要時間は約4分。城端線はJR西日本管内になるが、Suica(JR東日本)が使えた。これは2013年から始まっている交通系ICカード(以下ICカード)の相互利用サービスによるもの。ただ、駅の表示を見ると城端線でICカードが利用できるのは高岡駅と新高岡駅のみと判った。因みに、JR飯田線でICカード(JR東海はToica)が利用できる区間は豊橋・豊川間のみとなっている(同社HP)。

リニア開通後、首都圏からの来訪者にJR飯田線に乗って県内を移動してもらうには、ICカード利用は不可欠と思われる。現状、県内の移動には、中央東線は新宿から松本までICカード(Suica)が利用可能だが、松本～長野間は利用できず、またしなの鉄道も対応していない。県内を広く、特に南北に移動できるようにするにはICカードの利用環境を整える必要がある。



高岡駅(あいの風とやま鉄道=旧北陸本線)駅前



北陸新幹線新高岡駅前の美容院とエステ店。奥がビジネスホテル

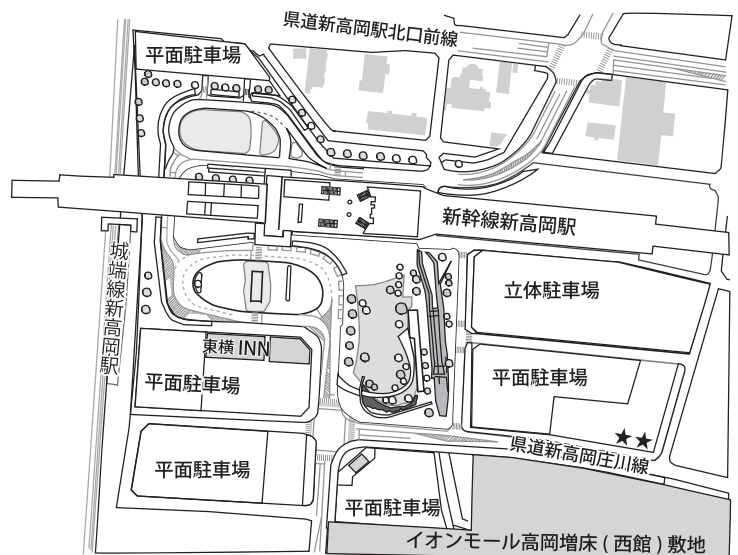


北陸新幹線新高岡駅前のイオンモール
道路左が既存店舗、空中回廊で繋がった右側が増床部分



城端線の列車

北陸新幹線新高岡駅周辺の状況



高岡市 新高岡駅周辺整備事業パンフレットを基に作成 開業後新設の施設を追加。

3. 高岡駅・新高岡駅間を歩いて探訪

「復」行程は、高岡・新高岡間を徒歩で、となった。これは、午前9時28分の次の列車が10時55分になってしまうことが判り、それではとバス乗り場へ移って時刻表を見たが、やはり30分以上の待ちとなっていたためだった。

新高岡・高岡間は平坦な地形で徒歩約20分。両駅を結ぶ駅南大通りは、道路沿いには事業所や飲食店が立ち並ぶが、その背後は個人住宅や集合住宅が多い。都市計画の用途区域でみると、駅南大通り沿いの両側は、細長く第1種住居地域、その奥が第1種中高層住居専用地域となっている。そして、大通りの中間付近に同市随一の観光スポットである瑞龍寺の参道が直交していて、参道を辿ると加賀前田家により建立の国宝瑞龍寺の伽藍が位置(風致地区)している。このように高岡駅と新高岡駅の間は、全体に瑞龍寺を中心として静かな住環境が維持されることが期待されており、またそのような様相を呈している。

4. 高岡駅周辺の「地盤沈下」は新幹線開通効果に非ず

これまで、高岡駅・新高岡駅というと、北陸新幹線開通で賑わいが生まれた新高岡駅周辺と、新幹線開通を見据えた駅前再開発にも拘わらず賑わいを失った高岡駅周辺、という捉え方をしていたが、今回訪問してみても違うのではないかと考え始めた。

朝の通勤時間帯に出くわすと、高岡駅周辺には多くの通勤者や通学生が入り込んでいる。特に、城端線列車が高岡駅に到着するとホームに大勢の乗客が吐き出される。高岡駅周辺市中心部には行政や大手企業の支社・営業所が多く、新幹線開通後も依然として経済活動の拠点であることは変わらない。ところで、高岡駅の土産物売り場は、新高岡駅より充実していると感じた。新高岡駅の売り場は、基本やや面積の広いコンビニで土産物も置いてあるという扱い。高岡駅のそれは昔ながらの名店街という雰囲気、高岡の特産品である銅器などもかなり取り揃えられている。かつて北陸本線の全ての特急が停車した頃の名残りと言えるが。

しかしながら、指摘されている通り、高岡駅周辺の人口減少、高岡駅前からの百貨店撤退や駅地下街の閑散状況、公示地価において新高岡駅周辺が高岡駅同を逆転したことなど、高岡駅周辺の「地盤沈下」が言われる所以となっている。長距離旅客の高岡駅利用が無くなったことによる賑わいの喪失は否定できないが、新幹線開通によるものというより、ロードサイド店やイオンモールなど郊外と中心市街地との競合、居住の郊外拡散など、全国どの都市にも見られる構造的な変化ということができるとは思わないか。高岡入りの際、最寄りの高岡ICから中心部へ向かう途中の煌々とした明かりが灯るロードサイドと明かりが消えた中心部街路とを比べての感想。イオンモールが新高岡駅前にあるため、新幹線開通効果と混同されている面も否めない。

5. 魅力ある路面電車、地域交通のあり方は

高岡駅に降りて目に付くのは高岡駅と富山新港を結ぶ路面電車(トラム)万葉線。地元出身の漫画家藤子不二雄(藤子・F・不二雄(藤本 弘)氏が高岡市出身、藤子不二雄A(安孫子素雄)氏が氷見市出身)を記念したドラえもんトラムが何回かに1回走ってくる。トラムは新高岡駅まで行ってないが、かつて城端線をLRT化し万葉線との接続も検討されていたという。

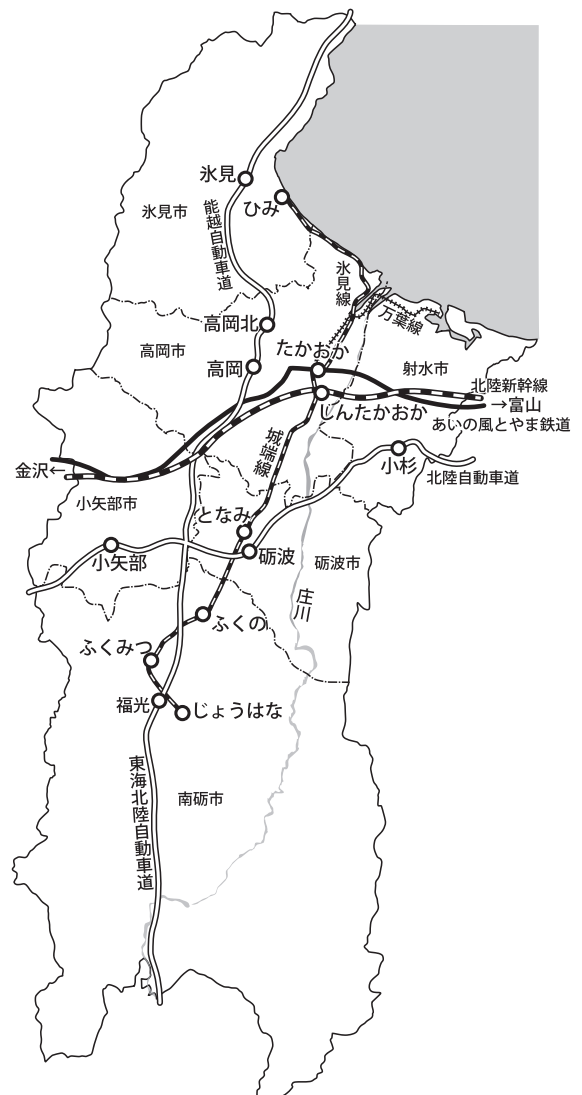
都市内公共交通機関として極めて魅力的と感じたが、全国的にどれ程の路面電車(トラム)が運行されているのか。ちょうど「旅行読売」本年9月号で路面電車特集が組まれており、それによると現在全国に20路線(本年8月開業の宇都宮LRTを含む)が運行されているという。

リニア長野県駅から飯伊地域・上伊那地域を結ぶのはJR飯田線とされ、新高岡駅と城端線の関係に似ると思われるが、リニア駅と市中心部とを結ぶ何か魅力的な交通機関を、と妄想してしまった。



高岡駅と富山新港を結ぶ万葉線

高岡市周辺の交通体系の概要



(飯田信用金庫 しんきん南信州地域研究所 リニア・三遠南信対策室 加藤 修平)

大学のあるまちの姿

～ 上田市・公立大学法人長野大学の事例 ～

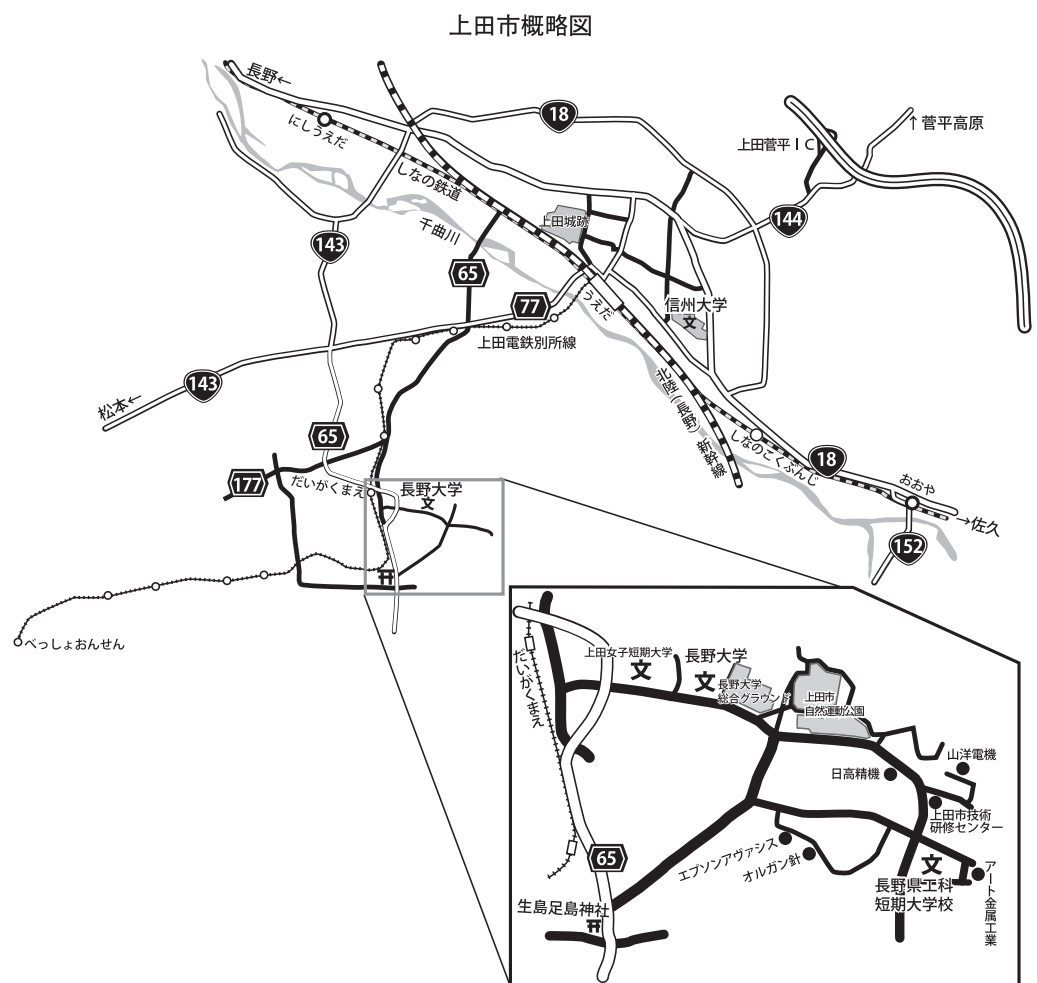
現在、飯田市では信州大学の新学部誘致を進めており、当地域の悲願である4年制大学の設置について信州大学新学部誘致推進協議会（以下、協議会）を設立し、誘致活動を行っている。信州大学は、本年8月3日に、情報系人材の養成について、学部レベルではなく理工系の大学院の拡充で対応していく方針を発表し、当初想定されていた情報系の新学部設置については見送られることとなった。それを受けて協議会では、「技術革新や人材育成の拠点となり、地域を支えてきた各種主体との相乗効果を生み出す原動力の一つとして、4年制大学はこの地域に必要」「これまで行ってきた大学と連携した取り組みや、地域の特徴や将来性、目指す姿等を整理し、新学部設置の必然性を持つ分野、当地域の強みを生かせる新たな発展領域（GX等）を念頭に、4年制大学の設置実現を目指していきたい」（協議会会長・佐藤飯田市長）とのコメントを出し、誘致活動の継続を表明した。また、飯田商工会議所でも4年制大学設置を目指す「新学部誘致・教育再生特別委員会」を8月17日に開催し、経済界としても、当地域で引き続き誘致活動を継続していく方針をあらためて打ち出したところである。

さて、そもそも「大学のあるまち」の姿とはどのようなものなのだろうか。その実態を探るべく、新幹線駅があり、市内に5つの大学等を有する地方都市である長野県上田市と、4年制大学である公立大学法人長野大学（上田市下之郷。以下、長野大学）へ伺った。本稿では長野大学からのデータを基に大学生の姿をイメージし、「大学のあるまち」について考えてみることにしたい。

本稿の執筆にあたり、長野大学様に多大な協力を賜りました。この場を借りて、厚く御礼申し上げます。

1. 上田市の概要と大学等教育研究機関

上田市は長野県東信地方の中心都市で人口15.3万人（令和5年8月1日時点）、長野県内では長野市、松本市に次ぐ3番目の規模の都市である。現在の上田市は、平成18（2006）年に（旧）上田市、丸子町、真田町、武石村の新設合併により誕生した。



上田市には、昭和24（1949）年に信州大学繊維学部が設置されたが、その前身は明治43（1910）年に設立された、日本初の蚕糸（蚕の繭から取った糸）に関する高等教育機関である上田蚕糸専門学校である。その当時から数えれば、上田市の大学の歴史は110年以上にもなり、その間に複数の大学が設立され、現在に至っている。

現在、上田市には5つの大学等の教育研究機関がある。以下、概要を紹介する。

- 信州大学（繊維学部）

昭和24（1949）年設立の国立大学。繊維学部は国内唯一の学部で、化学・材料科学分野における世界でも有数の学術機関。学生数約1,200人。

- 長野大学

昭和41（1966）年設立の本州大学を前身とする公立大学。学生数約1,450人（詳細は後述）。

- 上田女子短期大学

昭和42（1967）年設立の本州女子短期大学（長野大学の前身・本州大学の併設短大）を前身とする私立短期大学。長野大学に隣接している。学生数約300人。

- 長野県工科短期大学校

平成7（1995）年設立の県立の工業系短期大学校。産業界が求めるエンジニアの育成と専門的な技術の研究を行うことを目的とする。学生数約160人。

- 筑波大学山岳科学センター（菅平高原実験所）

昭和9（1934）年に東京文理科大学附属菅平高原生物研究所として開設。本州中央部の標高約1,300mの高冷地にあるというその立地条件を活かした、生物科学、地球科学、農学などの自然環境に関連する教育・研究施設。

上田市政策企画部の学園都市推進室によると、上田市の大学等に在籍する大学生は約3,500人、そのうち一人暮らしをしている大学生は約2,000人いるという。また、上田市と上記の5大学等が運営する「まちなかキャンパスうえだ」という拠点が上田駅の近く、海野町商店街の一角に設置されており、高校生・大学生・大学教員・地域住民・地元企業の交流の場となっているという。

本稿の取材のため、7月下旬に上田市を訪問した際に上田駅周辺を散策してみたところ、夏休み期間ということもあってか、多くの若者の姿を確認することができ、「大学のあるまち」の一端を感じることができた。その一方で、「学生同士の交流はあるが、その学生の中に大人が関わっていない」「大学生の熱量をまちづくりにうまく活用できていない」（上田市・政策企画部学園都市推進室）との話もあり、「大学のあるまち」における課題もあるとの印象を受けた。

2. 公立大学法人長野大学について

今回訪問した長野大学は、上田市の中心部から南西に車で約15分の距離にある。長野大学が位置する上田市の塩田平は、鎌倉～室町時代に多くの寺社仏閣が建てられ、数多くの文化財が残っている「信州の鎌倉」とも呼ばれる土地である。塩田平はその名が示す通り、平らな土地が広がる場所でもあり、豊かな田園風景を残しながら宅地開発も進められており、平成期に人口が大きく増加した地区もあるという（上田市・都市計画課）。長野大学は、塩田平の「上田リサーチパーク」に近接し、リサーチパーク内には前記の長野県工科短期大学校が立地する（前頁の図を参照）。

長野大学の前身である、本州大学（私立大学）が設立されたのは昭和41（1966）年。昭和45（1970）年に上田市に編入された旧・塩田町が4年制大学設立を政策として掲げ、町の全額出資により開学したという。設立から50年以

上の歴史があり、約15,000人の卒業生を輩出している。平成29(2017)年には公立大学法人となり、現在は社会福祉学部、環境ツーリズム学部、企業情報学部の3学部があり、約1,450人の学生が在籍している。

長野大学の特色として挙げられるのが、地域にある課題の発見と解決に寄与する教育・研究・地域活動と、地域住民との協働である。建学理念の一つに、「地域社会との密接な結びつきにより、学問理論の生活化を目指す」とあり、長野大学地域づくり総合センターが中心となり、地域をフィールドとした教育研究活動に積極的に取り組んでいる。また、学生は上田地域にある課題を地域住民等と協働して取り組む学びを数多く取り入れている。具体的には、ゼミの学生が地域の歴史的な景観を活かしたまちづくりを学び、景観の保護の方法や課題を学生自らの視点で考える活動や、まち歩き観光ガイドとして観光客に楽しんでもらうための案内を行う活動など、多くの学生が地域と関わる仕組みを取り入れている。

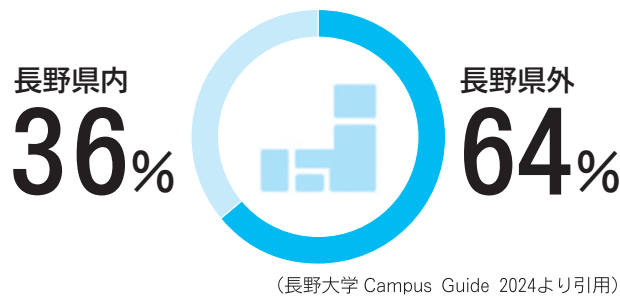
3. データから見える大学生の姿

ここからは、長野大学が「Campus Guide 2024」「FACTBOOK 2022」で公表している各種データから、大学生の出身地はどこか、どこに就職しているのか、どのような生活を送っているのか、などについて確認していきたい(断りが無いものについては、2022年度のデータ。③～⑥のデータについては、長野大学が実施した、学生対象のアンケート調査(回答数731)の結果による)。

① 大学生の長野県内・県外者の比率

長野大学における長野県内の学生比率は36%、長野県外からの学生比率は64%となっており、概ね3人に1人が県内出身者ということになる。なお、上田市出身者の比率は10%程度となっている。県外では、関東地区(15%)、東海地区(15%)、北海道・東北地区(10%)の順になっている。

▶ 全学部 長野県内・県外者比率 (%)



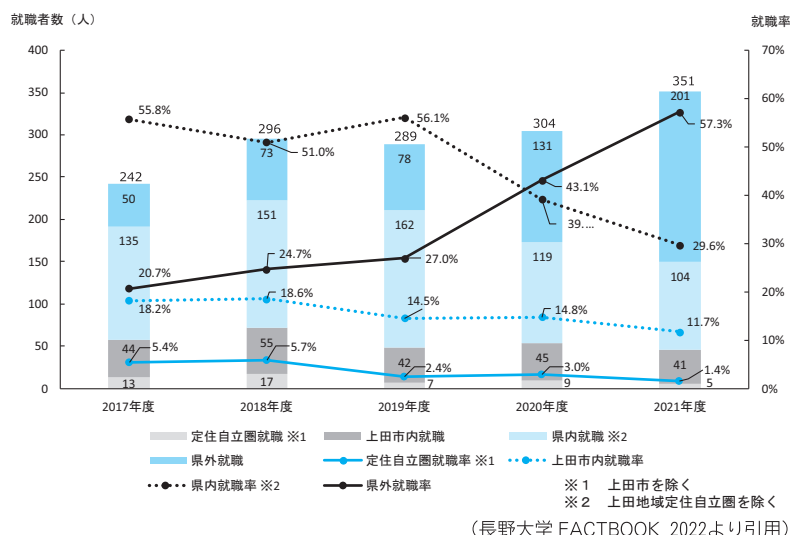
公立化した2017年度の比率を見ると、長野県内の学生比率は70%、長野県外の学生比率は30%となっており、公立化を境にして県内・県外者の比率は逆転したことになる。この点については、「公立化により学費が安くなったことで、優秀な学生の志望者が増えて、結果的に県外の学生が多くなったのではないか」(長野大学・教育グループ)とのことであった。

就職地域の状況

② 大学生の就職地域

続いて、就職先の地域について確認すると、2021年度実績で県内(上田市を含む)への就職率は43%、県外への就職率は57%となっている。就職率についても、①と同様に県外への就職率が年々増加傾向にあることが見てとれる。

2021年度実績は公立化後に入学した学生のデータと考えられることから、県外からの入学者が増えた時期と、県外への就職率が増加した時期は概ね一致している。この



(注釈：上田地域定住自立圏は、上田市、東御市、青木村、長和町、坂城町、立科町、嬬恋村の7市町村で構成)

ことから、学生にとって魅力のある国公立大学は、県外から学生を引き寄せることができる一方で、就職先についても自らの出身地など、県外で就職する学生も増えてしまうのではないかと考えられる。

「大学のあるまち」というと、大学で学んだ学生の多くがその地域で就職してくれるのではないかと、との印象を持っていたが、実際にはそうではないことがこのデータから分かる。一方で、「県外出身学生の一定数は県内に就職している」（長野大学・教育グループ）とのことから、大学生が社会人になっても地域に残るためには、大学生にとって魅力ある企業が必要であり、また大学生との接点を持って就職したい企業として認識してもらえようとする必要があると言えるのではないだろうか。

③ 大学生の通学手段

次に、長野大学の学生がどのような手段で通学しているか、確認してみたい。最も多いのは徒歩による通学で32.1%、自転車による通学も21.9%となっており、過半数の学生が大学周辺に住み、通学していることがわかる。当然のことながら、大学周辺には学生向けと思われるアパートが多く見られ、学生向けのアパート斡旋組合の看板も確認することができた。

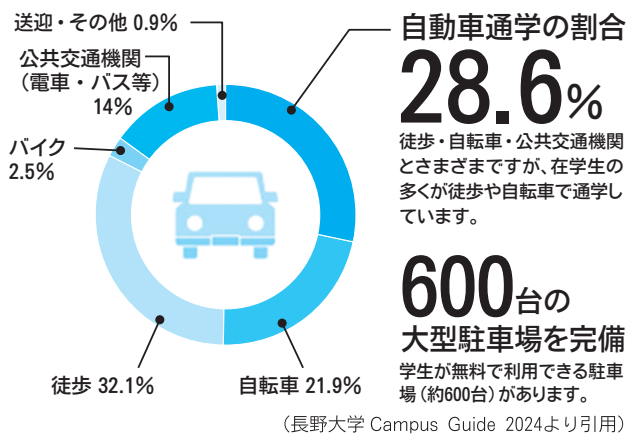
一方で、公共交通機関（電車・バス等）による通学は14%となっている。長野大学は上田市中部からはやや離れており、上田駅から上田電鉄別所線が長野大学前駅まで通っている（上田駅→大学前駅までの所要時間は約15分）ことから、電車による通学が多いのではないかと印象を持っていたが、この結果を見る限り、電車による通学は少数派であった（なおデータにはないが、新幹線で通学する学生もいるとのことである）。

特徴的なのは自動車による通学の多さで、約3割を占めている。長野大学は学生が無料で利用できる駐車場を大学周辺に600台分用意しており、自宅から通う学生も35%いるとのことである。高校生までと違って、大学生は車による通学も可能になる年齢であり、4年制大学では大学設備において駐車場の整備も求められるということであろう。

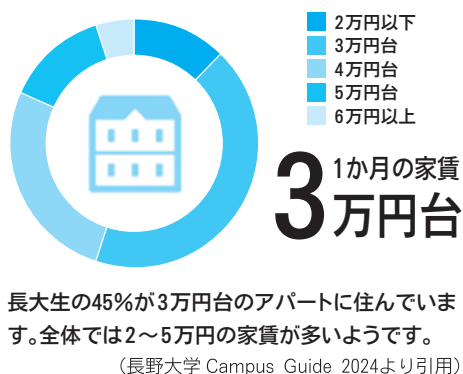
④ 大学生の家賃・生活費

長野大学の学生の家賃は、3万円台が45%で最も多く、3～4万円台までで4分の3程度を占めている。中には2万円台という家賃もあるようで、やはり学生向けの賃貸住宅は一般の相場よりも安価に設定されているようである。

▶ 大学への通学手段は？



▶ 家賃はどのくらい？

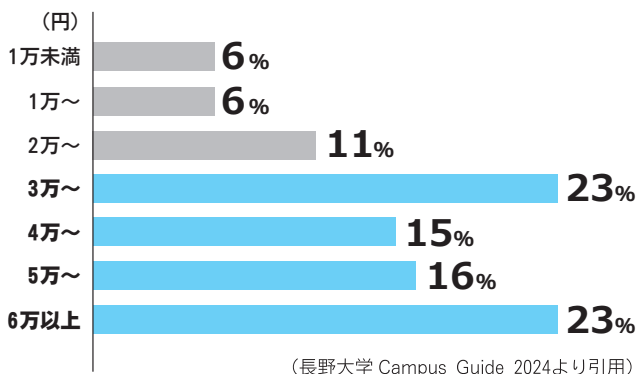


▶ 1か月の生活費はいくら？

3～6万円台

長大生の約80%が3～6万円台で生活しています。生活費の収入源はアルバイト、仕送り、奨学金の順となっています。

※授業料等の学納金を除く月平均生活費 (自宅通学者は住居費や食費等の共同支出分は除外)



また、1か月の生活費は3万円台と6万円台がともに23%で最も多く、次いで5万円台、4万円台となっている。生活費の内訳はデータにはないが、仮に大学生一人当たり生活費月5万円、家賃4万円で生活するとした場合、長野大学の学生(約1,400人)だけで月に1億2,000万円以上、1年換算では15億円以上のお金が動いていることになる。

⑤ 大学生のアルバイト

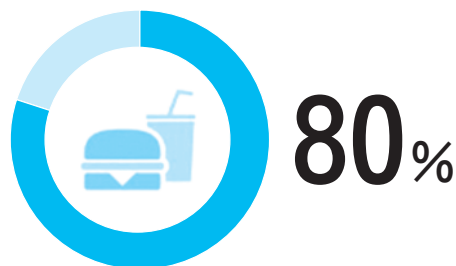
短大生は2年間の大学生活で単位取得から就職活動まで行わなければならない、アルバイトに充てられる時間は少ないとの話を聞くが、4年制の大学生はどうか。

長野大学の学生のうち、アルバイトに従事する学生は80%とのことであり、少なくとも1,000人を超える学生アルバイトが大学周辺の地域で働いていることになる。アルバイトに従事する日数は、「週に3～4日」が最も多く、次いで「週に1～2日」となっている。

図表にはないが、主にアルバイトに従事する時間帯については、「夕方～22時頃」までが最も多く、次いで「日中(授業のない時だけ)」「夕方～20時頃」の順となっており、この3つの時間帯で8割弱を占めている。また、「日中(授業のない時だけ)」「日中(授業のある時も)」を合わせると、全体の3分の1程度を占めており、土日も含めた日中にアルバイトをしたい学生が一定数いることが窺える。

アルバイトの場所については、「飲食店」が最も多く3割程度、次いで「スーパー」「コンビニ」「福祉施設」の順となっている。また、少数ではあるが「宿泊施設」「工場」「冠婚葬祭施設(結婚式場、斎場等)」との回答もあり、大学生が多様な職場で戦力となっていることが分かる。

▶ アルバイトについて



約80%の長大生がアルバイトに従事しています。週に3～4日従事する学生が最も多く、長期休暇のみ働く学生もいるようです。

(長野大学 Campus Guide 2024より引用)

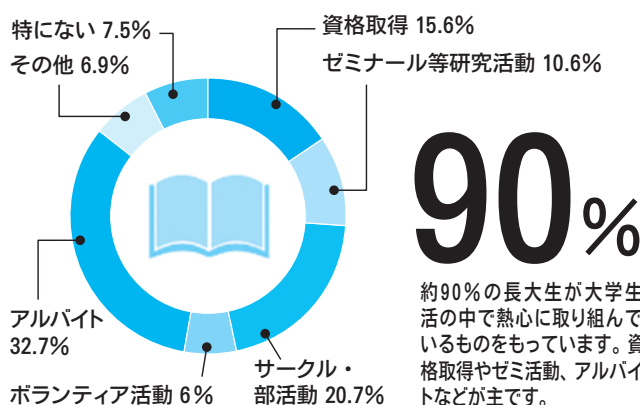
⑥ 大学生が熱心に取り組んでいるもの

最後に、長野大学の学生が熱心に取り組んでいるものについて確認したい。

前記の「アルバイト」が最も多く、次いで「サークル・部活動」「資格取得」「ゼミナール等研究活動」の順となっている。9割超の学生が熱心に取り組む、その熱量が地域に与える影響は大変大きいものであると思われる。

また少数ではあるが、「ボランティア活動」との回答がある点は、地域に根差した長野大学の特色が感じられる。

▶ 熱心に取り組んでいるものがある



約90%の長大生が大学生活の中で熱心に取り組んでいるものをもっています。資格取得やゼミ活動、アルバイトなどが主です。

(長野大学 Campus Guide 2024より引用)

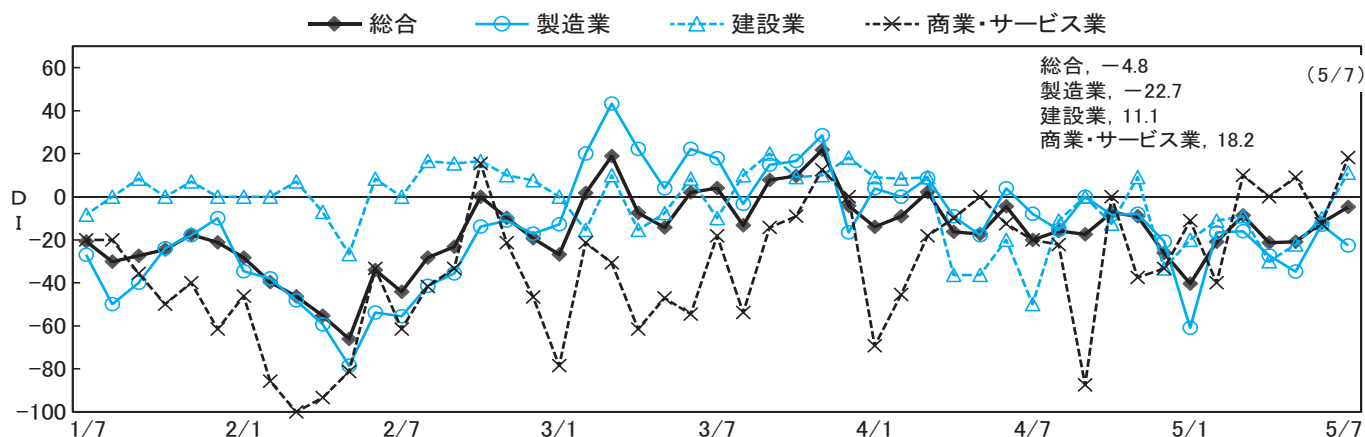
4. おわりに

以上、上田市の概要と、長野大学のデータを引用して大学生の姿について紹介をさせていただきました。読者の皆様にとって、「大学のあるまち」を考える上での参考となれば幸いです。

(飯田信用金庫 しんきん南信州地域研究所 竹内 文人)

飯伊地区全産業景況 D I の推移

飯伊地区景況 D I (本誌調査)



飯伊地区主要経済指標

主要指標		実数	前月比	前年同月比	前々年同月比	令和元年同月比
倒産件数 (負債総額1千万円以上) (6月)	県内	4件	(前月 6件)	(前年同月 5件)	(前々年同月 5件)	(令和元年同月 3件)
	飯伊	0件	(前月 0件)	(前年同月 1件)	(前々年同月 1件)	(令和元年同月 1件)
住宅着工戸数 (飯田市、下伊那郡 総数) (6月)		116戸	70.6%	75.8%	63.4%	103.5%
有効求人倍率 (パートを含む実数) (ハローワーク飯田管内) (6月)		1.56倍	(前月 1.47倍)	(前年同月 1.46倍)	(前々年同月 1.31倍)	(令和元年同月 1.40倍)
自動車新規登録台数 (松本事務所管内)	新車	2,121台	△ 4.2%	14.4%	4.0%	△ 22.4%
	中古車	700台	△ 9.2%	△ 5.3%	△ 7.8%	△ 12.5%
軽自動車新規登録台数 (全国軽自動車協会連合会) (6月)	新車	3,581台	14.4%	△ 0.7%	4.4%	△ 17.1%
	中古車	1,240台	3.7%	4.2%	2.0%	17.1%
中央道利用台数 (飯田インター分)	入	100,933台	9.7%	7.9%	13.5%	△ 12.7%
	出	103,584台	11.1%	7.7%	15.2%	△ 12.0%
中央道利用台数 (松川インター分)	入	62,163台	8.4%	8.2%	12.1%	△ 21.5%
	出	59,501台	8.0%	7.8%	9.4%	△ 21.5%
中央道利用台数 (園原インター分)	入	18,352台	52.7%	△ 4.2%	30.8%	42.7%
	出	14,749台	26.7%	△ 7.4%	5.9%	11.5%
中央道利用台数 (飯田山本インター分)	入	51,851台	8.1%	21.4%	24.4%	27.0%
	出	52,770台	21.6%	14.2%	22.5%	31.8%
中央道利用台数 (座光寺スマートインター分)	入	40,987台	8.2%	16.2%	-%	-%
	出	38,991台	8.9%	12.7%	-%	-%
信用保証協会 新規保証件数 (飯田支店管内)		131件	△ 9.0%	20.2%	37.9%	△ 19.6%
信用保証協会 代位弁済件数 (飯田支店管内)		1件	(前月 0件)	(前年同月 0件)	(前々年同月 0件)	(令和元年同月 3件)
高速バス乗車人数	飯田～新宿	20,682人	△ 13.4%	46.9%	186.2%	△ 21.3%
	飯田～名古屋	13,603人	15.3%	30.3%	97.0%	△ 25.9%
	飯田～長野	3,994人	△ 10.6%	12.1%	21.1%	△ 57.6%
	伊那・駒ヶ根～新宿	17,270人	22.6%	75.8%	311.8%	△ 20.0%
市内循環バス乗車人数	左回り	2,632人	△ 1.1%	0.2%	△ 3.8%	△ 30.3%
	右回り	2,783人	1.8%	3.8%	△ 2.0%	△ 23.2%

南信州の

民俗芸能を知る

第2弾

歌舞伎を学ぶ



明治から
大正時代の
飯田歌舞伎座の
にぎわい



明治の飯田を彩った芝居
写真と資料を交え、
当時の様子を語る。

講師：竹村雄次氏
飯田市歴史研究所
特任研究員



大鹿歌舞伎の歴史と 伝統継承者育成について

娯楽としての歌舞伎から
“奉納歌舞伎”へと変化した経緯、
また継承育成について語る。

講師：北村尚幸氏
大鹿村教育委員会
大鹿歌舞伎保存会
事務局

役者が 出来るまで

大鹿歌舞伎保存会

化粧おしろいや着付けの
様子を間近で見学。
その後、歌舞伎の
一場面を実演。



下條歌舞伎

下條村で農村歌舞伎として
300年以上受け継がれる
下條歌舞伎のご紹介。

齋藤 充氏
下條歌舞伎保存会
事務局



令和5年

9/23 土・祝

14:00~15:30

会場 飯田信用金庫 本店
2階大会議室

聴講無料
〈事前申込〉



お申込みはこちらから→

〈主催〉



IIDA SHINKIN BANK
飯田信用金庫

〈後援〉 南信州民俗芸能パートナー企業



南・信州
民俗芸能
Nanshinshu Folk Arts

飯田市教育委員会・大鹿村教育委員会・下條村教育委員会・
南信州民俗芸能継承推進協議会・長野県南信州地域振興局・
大鹿歌舞伎保存会・下條歌舞伎保存会

お問合せ：飯田信用金庫地域サポート部 TEL 0265-53-5811